

都市再生整備計画

かすがしなんぶていじゅうかんきょうこうじょう
春日市南部定住環境向上地区

ふくおか かすが
福岡県 春日市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福岡県	市町村名	かすが 春日市	地区名	かすがしなんぶでいじゆうかんきょうこうじょう 春日市南部定住環境向上地区	面積	437	ha							
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度

目標
大目標:多様な世代が安全かつ快適に暮らすことのできる住環境を形成するため、豊かな地域づくりに資する公園や道路を地域の暮らしのニーズに合わせて整備するとともに、防災機能の充実を図ることで災害に強い市街地を形成する。 目標1:子ども達の魅力的な遊び場を創出することで子育て世代の定住を促進するとともに、利用者のニーズに応じた公園の整備を推進することで生活の質を高める 目標2:安心して住み続けることができるように住宅地における道路の安全性及び快適性を向上させることにより、高質な居住環境を形成することで空き家の増加を抑制する 目標3:市民、地域、行政が協働して防災、減災に取り組むまちづくりを推進することできるように防災機能を向上させる 目標4:多様な世代が快適に暮らすことのできる住環境を形成することで地区内の人口を増加させる
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方えを含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ・居住誘導区域では、多様な世代が安全かつ快適に暮らすことのできる住環境を形成するために、住宅立地等の誘導とともに、社会情勢や少子高齢化等の動向を踏まえた居住環境整備、豊かな地域づくりに資する道路・公園・緑地・街路樹の公共施設の整備等を進めている。 ・地域資源を活かした居住の魅力創造を図るため、居住誘導区域の中でも、水と緑に親しむゆとりある暮らしの質の向上を進めるゾーンでは、自然環境を活かした水と緑の都市空間の形成を展開する。 ・市域面積の約9割を占める居住誘導区域において、拠点周辺における質の高い住宅・住環境の整備や既存住宅地の機能更新、用途制限等の緩和、ハード・ソフト両面からの安全な市街地の創出などによって住環境の魅力を高めていく。 ・居住誘導区域では、多様な世代が安全かつ快適に暮らすことのできる住環境を形成するために、住宅立地等の誘導とともに、社会情勢や少子高齢化等の動向を踏まえた居住環境整備、既存の住宅ストックの活用等を進めていく。 ・災害による被害を防ぐための「防災」と災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本とし、災害に強い市街地の形成を目指すとともに、災害リスクを踏まえた上で、防災・減災に向けた具体的な施策を防災指針として定め、安全・安心な都市づくりを推進する。
まちづくりの経緯及び現況
・福岡市域の天神や博多地区へのアクセスが良く、福岡都市圏の住宅都市として発展してきた。 ・コンパクトな都市構造で災害リスクも比較的低く、地形的・地理的に居住に適した住宅都市となっており、人口密度は九州・沖縄地区で最も高くなっている。 ・今後、緩やかな人口減少と高齢化の進展が見込まれる中で、本市の地域活力を長期的に維持・向上させるため、令和6年3月に立地適正化計画を策定し、持続可能な都市構造への再編を目指している。 ・市南部に位置する「春日市南部定住環境向上地区」は、白水大池公園をはじめとするため池や緑地等の豊かな自然環境のなかに、良好な住環境が整った地区である。 ・令和4年の市制 50 周年を機に作成した「春日新50年プラン」では、市民の憩いの場として親しまれている春日公園と白水大池公園を中心に、溜池、公園、緑地、街路樹などを活かした「水と緑のネットワーク」など自然と調和した都市空間づくりを進めることとしている。 ・安全に安心して住み続けることができるようにハード・ソフト両面からの安全な市街地の創出が求められている。
課題
課題1:市において、公園で子ども達のボール遊びのルールづくりを推進しているが、公園でボール遊びができる環境が整備されていない。また、現状の公園施設と利用者のニーズ(防災機能の充実、利便性や快適性の向上)が合致していないため、公園の魅力が低下している。 課題2:安全で快適な道路空間が形成されていない住宅地では生活環境の悪化を招いていることから、空き家率の増加が懸念される。 課題3:防災、減災に取り組むまちづくりを目指しているが、十分な防災施設が整備されていない。
将来ビジョン(中長期)
①第6次春日市総合計画(令和3年3月策定) ・市民が公園や緑地等を憩いの場として活用できるように、将来の人口動態や市民の利用ニーズに応じた再整備を行う。 ・誰もが安全で快適に通行できる道路空間を構築し、公共交通体系の充実や、市民の利便性の向上に努め、魅力ある都市空間の形成を推進する。 ②第2次春日市都市計画マスタープラン(令和3年9月策定) ・白水大池公園をはじめとして、既存公園の維持・管理の充実を図り、市民が緑の豊かさを身近に実感できるまちを実現する。 ・歩行者空間の安全性・快適性の向上、計画的な排水施設整備を図るとしている。 ③第2次春日市緑の基本計画(令和3年9月策定) ・白水大池公園の持続的な維持管理に向けた財源の確保や、より多機能な活用を図るとしている。また、公園の防災機能の充実と市民の防災力の向上を図ることや、子どもたちが公園でボール遊びができるような取り組みを推進するとしている。 ④春日市立地適正化計画(令和6年3月策定) ○居住誘導に係る施策 ・豊かな地域づくりに資する道路・公園・緑地・街路樹の再整備等を行うとしている。 ○水と緑の居住ゾーン ・多様な世代のニーズに対応した公園・緑地・街路樹・道路等の再整備等を行うとしている。 ・白水大池公園の魅力向上に取り組むとしている。

都市構造再編集集中支援事業の計画								
都市機能配置の考え方 ・白水大池公園では民間活力の導入に伴う利用者の増加に対応するために駐車場の増設を行う。また、自然環境を身近に感じることができる空間の形成を図り、本市のシンボルである白水池と融合した水と緑のネットワークを形成することで、白水大池公園の魅力が向上する。 ・子ども達のボール遊びができるように広場の周囲にフェンスを設置するなどの公園の整備を行うことで、子ども達の社会性を高める場を提供することが出来る。また、子育て世代にとって住みやすい環境を創出することで、都市の魅力が向上する。 ・地域コミュニティ活性化のため、活用されていない公有地にスポーツやレクリエーションを楽しめるように広場の広い公園を新たに整備する。また、災害時の避難場所として活用できる防災機能を有した施設を整備することで、都市の防災力が向上する。 ・豊かな地域づくりに資する道路・公園等の整備を行うことで、ゆとりある良好な住宅地を形成する。								
目標を定量化する指標								
指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
快適な生活環境の保全の満足度		%	市民意識調査結果において、地区内の「快適な生活環境の保全」に「満足、やや満足、やや不満、不満、無回答」のうち「満足」と答えた割合	豊かな地域づくりに資する公園や道路を整備することで、住み続けたいと感じることができる高質な居住環境を形成する。	19.1%	R4年度	21.0%	R11年度
空き家の増加率		%	空き家実態調査における、地区内の空き家の増加率	公園や道路の整備により、居住環境を向上させることで、空き家の増加を抑制する。	8.6%	R2年度	0.0%	R11年度
自然災害対策の充実の満足度		%	市民意識調査結果において、地区内の「自然災害対策の充実」に「満足、やや満足、やや不満、不満、無回答」のうち「満足」と答えた割合	防災機能の充実を図ることで、市民、地域、行政が協働して防災、減災に取り組むまちづくりを推進する。	21.1%	R4年度	23.2%	R11年度
地区内人口数		人	地区内の人口数	多様な世代が安全かつ快適に暮らすことのできる住環境を形成することで地区内の人口を増加させる。	25,475人	R5年度	25,500人	R11年度

計画区域の整備方針	
【整備方針1 子ども達の魅力的な遊び場を創出することで子育て世代の定住を促進するとともに、利用者のニーズに応じた公園の整備を推進することで生活の質を高める】 ・市の代表的な公園である白水大池公園の効果的な利活用により、持続的な誘客を図る仕掛けづくりを行うための整備を行う。 ・多様な世代が多目的広場で安全にソフトボールができるように公園の整備を行う。 ・子ども達のボール遊びができるように広場の周囲にフェンスを設置するなどの公園の整備を行うことで、子ども達の社会性を高める場を提供する。 ・地域コミュニティ活性化のため、活用されていない公有地にスポーツやレクリエーションを楽しめるように広場の広い公園を新たに整備する	【方針に合致する主要な事業】 【基幹事業】(公園)白水大池公園整備 【基幹事業】(公園)位瀬公園整備 【基幹事業】(公園)白水ヶ丘中央公園整備 【基幹事業】(公園)下ノ川公園整備 【基幹事業】(公園)平田台広場公園整備 【関連事業】(公園)白水大池公園グリーンインフラ整備事業 【関連事業】(公園)金口池公園こどもまんなか公園づくり支援事業 【関連事業】(公園)元宮公園こどもまんなか公園づくり支援事業
【整備方針2 安心して住み続けることができるように住宅地における道路の安全性及び快適性を向上させることにより、高質な居住環境を形成することで空き家の増加を抑制する】 ・誰もが安全で快適に通行できる道路を整備し、魅力ある都市空間を形成することで空き家の増加を抑制する。 ・安全で安心な道路空間を整備し、多様な世代が住み続けたいと感じることができる質の高い居住環境を形成することで都市の空洞化を防止する。	【基幹事業】(道路)市道第753号外1路線道路整備 【基幹事業】(道路)市道第920号路線道路整備 【基幹事業】(道路)市道第1428号路線道路整備
【整備方針3 市民、地域、行政が協働して防災、減災に取り組むまちづくりを推進することができるように防災機能を向上させる】 ・活用されていない公有地に地域防災施設や公園を整備するとともに、同施設のアクセス道路を整備する。 ・災害時の避難場所として活用できる防災機能を有した施設(マンホールトイレ、防災ベンチ等)を公園に整備することで、地区内の防災性を向上させる。	【基幹事業】(道路)市道第920号路線道路整備 【基幹事業】(道路)市道第1428号路線道路整備 【基幹事業】(公園)平田台広場公園整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)(地域防災施設)平田台コミュニティ供用施設整備 【基幹事業】(高次都市施設)(地域交流センター)平田台コミュニティ供用施設整備
【整備方針4 多様な世代が快適に暮らすことのできる住環境を形成することで地区内の人口を増加させる】 ・多様な世代のニーズに応じた公園や道路の整備により、居住環境を向上させることで人口を増加させる。 ・安全で快適に歩ける道路の整備や利用者のニーズに応じた公園の整備を行うなどの魅力あるまちづくりを推進することで人口を増加させる。 ・公有地の有効活用を図るため、コミュニティ供用施設や公園を整備することに加え、防災機能の充実を図ることで災害に強い市街地を形成する。	【基幹事業】(道路)市道第753号外1路線道路整備 【基幹事業】(道路)市道第920号路線道路整備 【基幹事業】(道路)市道第1428号路線道路整備 【基幹事業】(公園)白水大池公園整備 【基幹事業】(公園)位瀬公園整備 【基幹事業】(公園)白水ヶ丘中央公園整備 【基幹事業】(公園)下ノ川公園整備 【基幹事業】(公園)平田台広場公園整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)(地域防災施設)平田台コミュニティ供用施設整備 【基幹事業】(高次都市施設)(地域交流センター)平田台コミュニティ供用施設整備 【関連事業】(公園)白水大池公園グリーンインフラ整備事業 【関連事業】(公園)大牟田池自然公園グリーンインフラ整備事業 【関連事業】(公園)惣利公園グリーンインフラ整備事業 【関連事業】(公園)金口池公園こどもまんなか公園づくり支援事業 【関連事業】(公園)元宮公園こどもまんなか公園づくり支援事業
その他	
【地元自治会と連携した協働のまちづくりの推進】 ・本市では、自治会が果たす役割は大きく、まちづくりの中核を担っており、市民と行政がまちづくりの対等なパートナーとして、より良いまちづくりを行う「協働のまちづくり」を推進している。	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

...C

[illegible]

春日市南部定住環境向上地区(福岡県春日市)

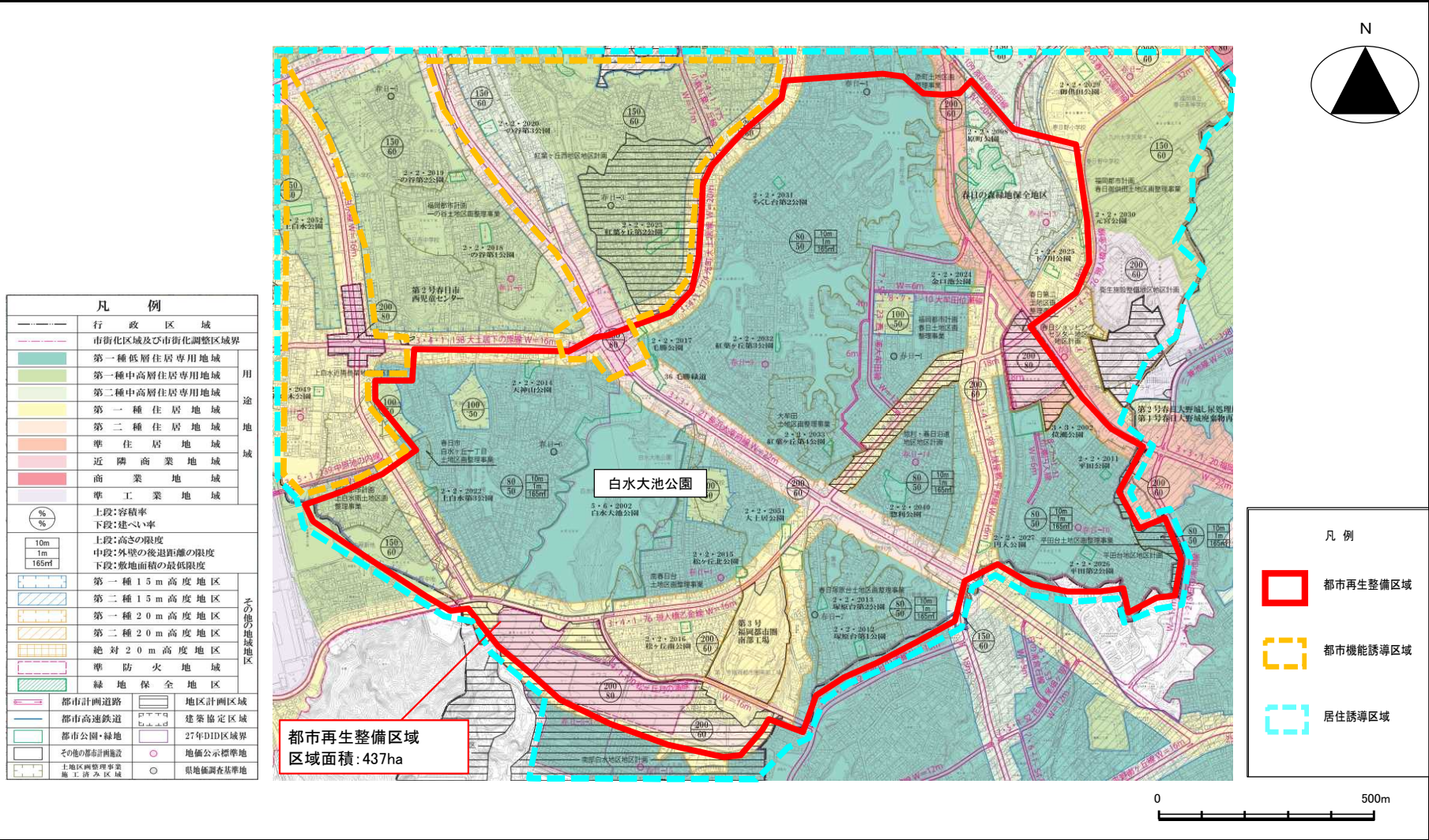
面積

437

ha

区域

春日市白水ヶ丘1、2丁目の一部、天神山3～7丁目、白水池1～3丁目、大字上白水、大字下白水、星見ヶ丘1、4、6丁目、松ヶ丘1～6丁目、塚原台1～3丁目、惣利1～6丁目、平田台1～6丁目、大土居1～3丁目、紅葉ヶ丘東1～10丁目、ちくし台1～5丁目、若葉台東3、4丁目、大字春日、原町1丁目の一部、春日1丁目の一部、春日2～10丁目



春日市南部定住環境向上地区(福岡県春日市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:多様な世代が安全かつ快適に暮らすことのできる住環境を形成するため、豊かな地域づくりに資する公園や道路を地域の暮らしのニーズに合わせて整備するとともに、防災機能の充実を図ることで災害に強い市街地を形成する。	代表的な指標	快適な生活環境の保全の満足度 (%)	19.1% (R4年度) → 21.0% (R11年度)
	目標1:子ども達の魅力的な遊び場を創出することで子育て世代の定住を促進するとともに、利用者のニーズに応じた公園の整備を推進することで生活の質を高める		空き家の増加率 (%)	8.6% (R2年度) → 0.0% (R11年度)
	目標2:安心して住み続けることができるように住宅地における道路の安全性及び快適性を向上させることにより、高質な居住環境を形成することで空き家の増加を抑制する		自然災害対策の充実の満足度 (%)	21.1% (R4年度) → 23.2% (R11年度)
	目標3:市民、地域、行政が協働して防災、減災に取り組むまちづくりを推進することできるように防災機能を向上させる		地区内人口数 (人)	25,475人 (R5年度) → 25,500人 (R11年度)
	目標4:多様な世代が快適に暮らすことのできる住環境を形成することで地区内の人口を増加させる			

